

手当てを受けて放鳥されるクロツラヘラサギ  
 =14日午後3時、豊見城市豊崎干潟（名嘉真朝英撮影）



読んで  
 温かい  
 NIE

# 真っ白な羽広げ空へ

豊見城市内でくち  
 かり、その後、保護され手当てを  
 ばしに釣り糸が絡まっ  
 受けていた絶滅危種の渡り鳥ク  
 状態じょうたいで4日よっかに見つ  
 ロツラヘラサギが14日、同市の豊

## クロツラヘラサギ、放鳥

崎干潟で放された。

県自然保護課職員2人がクロ  
 ツラヘラサギの入った段ボール箱  
 を開けると真っ白な羽を広げて飛  
 び、数ヶ離れた同市与根の遊水池  
 （通称・三角池）に降りた。水  
 浴びを楽しむように別のクロツラ  
 ヘラサギ8羽と一緒に羽を  
 休めた。

クロツラヘラサギは11日に保護  
 され、那覇市内の動物病院で体  
 調を回復させていた。放鳥前は  
 1日に餌のワカサギ100匹を食  
 べるまでに回復した。

沖縄野鳥の会の山城正邦会長  
 （49）は「釣り糸などを放置しな  
 いようポスターを作って協  
 力を求めたい」と話した。

動画